

2015年10月9日

**電通の「チーム・クールジャパン」がロンドン開催の「PRESENTING JAPAN」に参画
— 官民連携のプレゼンテーションイベントで、世界に広めたい日本の価値を発信 —**

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：石井 直、以下「電通」）の全社横断プロジェクト「チーム・クールジャパン」は、ラグビーワールドカップ2015に合わせ、本年10月にロンドンで実施する官民連携のプレゼンテーションイベント「PRESENTING JAPAN」に参画します。主催する「ジャパンプレゼンテーション2015 実行委員会」の一員として、世界に日本の価値や本質を発信していきます。

電通は2013年11月に、世界に向けて日本の価値を発信する企業を支援するため、「チーム・クールジャパン」を発足させてさまざまな活動を行ってきました。その一環として2014年6月には「ジャパンプレゼンテーション2014 実行委員会」に参画し、FIFAワールドカップ・ブラジル大会の開催期間（2014年6～7月）に合わせてリオデジャネイロで行われた官民連携のプレゼンテーションイベント「JAPAN OMOTENASHI PAVILION」の実現に向けて主導的な役割を担いました。

1週間にわたり開催される「PRESENTING JAPAN」では、日本が誇るクリエイター、テクノロジスト、アーティスト、スポーツ選手、伝統工芸の職人、料理人たちが、6つのテーマでプレゼンテーションを行います。アドバイザーにTEDxTokyo（テデックス東京）代表のパトリック・ニューウェル（Patrick Newell）氏を迎え、海外からの視点も取り入れることで、日本の価値や本質、アイデアやクリエイティビティを世界の人々に発見していただくことを狙います。

また同時に、アーティストによるライブペインティング、最先端テクノロジーのデモンストラーション、柔道のワークショップなども行います。天野喜孝氏が手掛けたメインアートが展示される会場で、訪れる方々を日本酒、日本のお茶、日本食などで“おもてなし”する予定です。

「PRESENTING JAPAN」の開催概要、6つのテーマ展開、特別企画は次のとおりです。

■PRESENTING JAPANの開催概要

名 称： PRESENTING JAPAN (URL：www.presenting-japan.jp)

主 催： ジャパンプレゼンテーション2015 実行委員会

開催期間：2015年10月24日（土）～10月30日（金）の11:00～18:00（予定）※1

※1 ロンドン現地時間。終了時間は日によって前後します。

会場：クイーン エリザベスII カンファレンスセンター前 芝生広場特設会場

参画：株式会社コトブキ、株式会社開化堂、有限会社青柳正家、株式会社 FFRI、株式会社小布施堂、株式会社回進堂、株式会社巖邑堂、株式会社廣榮堂、株式会社標津羊羹本舗、株式会社鈴懸、タイムアウト東京株式会社、株式会社槌谷、株式会社虎屋、株式会社電通 チーム・クールジャパン、株式会社村岡総本舗、米屋株式会社、株式会社山本山

オフィシャルメディアパートナー：タイムアウト東京株式会社

協力：COOL JAPAN on Google+

なお本事業は、クールジャパン推進のため、ラグビーワールドカップ2019組織委員会、スポーツ庁、内閣官房、内閣府、総務省、外務省、国税庁、農林水産省、観光庁、日本スポーツ振興センター、日本放送協会、国際交流基金、日本貿易振興機構（JETRO）、日本政府観光局（JNTO）、日本酒造組合中央会、ミス日本酒と連携しています。

■PRESENTING JAPANのロゴマーク



■6つのテーマ展開

・10月24日（土）＜Cultural food＞

出汁の文化、水や自然との対峙の仕方、麴の神秘。ユネスコ無形文化遺産にも登録された和食。そして和食に欠かせない日本酒には、単なる食を超えた日本の深い哲学が込められています。京都より老舗日本酒蔵元、和食料理人と西洋料理人らが、それぞれの視点で和食と日本酒の魅力を語り合い、食と日本酒のフードペアリングの提案なども行います。

出演：石井 義典氏（ロンドンの日本料理店「UMU」総料理長）、Brett Graham 氏（ロンドンの有名レストラン「The Ledbury」ヘッドシェフ）、石田 和也氏（陶芸家）、真塩 亮介氏（「UMU」ヘッドソムリエ）、Sybil Kapoor 氏（フードライター）、増田 徳兵衛氏（「月の桂」

醸造元 14 代目蔵元)、吉武 理恵氏 (日本酒造組合 中央会ロンドンサポートデスク)

・ 10 月 25 日 (日) <Technology with heart>

人間と心が通い合うようなロボットや、世界中で愛されるバーチャル・シンガーなど、日本のトップクリエイターが生み出してきたのは、冷たいテクノロジーではなく、エモーショナルなテクノロジー。その秘密を解き明かします。

出演：真鍋 大度氏 (株式会社ライゾマティクスリサーチ^{※2} ディレクター)、伊藤 博之氏 (クリプトン・フューチャー・メディア株式会社^{※3} 代表取締役)、鶴飼 裕司氏 (株式会社 FFRI^{※4} 代表取締役社長)、太田 智美氏 (ロボットパートナー)

※2 ウェブデザイン、インタラクティブデザイン、グラフィックデザイン、内装・建築などの事業を展開する株式会社ライゾマティクスの中で R&D 的要素の強いプロジェクトを行うために 2015 年より設立された部門。真鍋大度と石橋素が共同主催。

※3 クリプトン・フューチャー・メディア株式会社は、ソフトウェア音源の販売、モバイルを楽しくするコンテンツの企画・開発、「初音ミク」などのキャラクターを活用したライブやグッズ展開、音楽出版・音楽配信などの事業を展開。

※4 株式会社 FFRI はコンピューターセキュリティの研究、コンサルティング、情報提供、教育を行う電気通信事業者。

・ 10 月 26 日 (月) <Timeless creation>

日本を象徴する着物や工芸といった伝統文化、アニメーションをはじめとするポップカルチャー。進化し続ける日本のクリエイションを、伝統とポップカルチャーの境界を超えて美しくプレゼンテーションします。

出演：天野 喜孝氏 (イラストレーター)、八木 隆裕氏 (開化堂 6 代目)、各務 亮氏 (GO ON^{※5} プロデューサー)、木村 太一氏 (映像ディレクター)、サカクラ カツミ氏 (ORIENTARHYTHM^{※6} パフォーマー)

※5 GO ON (ゴオン) は、伝統工芸を技と素材にまで解体し、さまざまな企業やクリエイターに提供するプロジェクトユニット。

※6 ORIENTARHYTHM は、日本の伝統文化の持つ特異性 (身体の使い方、リズム、精神性) をエンターテインメントとして表現するダンスユニット。

・ 10 月 27 日 (火) <Social innovation>

地震大国でもあり、環境問題をはじめとする課題先進国の日本では今、未来を変えるアイデアが続々と誕生しています。世界の課題を解決するヒントとして、日本発のソーシャルイノベーションを伝えます。

出演：太刀川 英輔氏 (NOSIGNER 株式会社^{※7} 代表取締役)、水野 大二郎氏 (慶応大学環境情報学部准教授)、深澤 幸郎氏 (株式会社コトブキ^{※8} 代表取締役社長) ほか

※7 NOSIGNER（ノサイナー）株式会社は、ソーシャルイノベーションデザイン（社会や未来により良い変化をもたらすためのデザイン）を理念としたデザインファーム。

※8 株式会社コトブキは、屋外公共家具・サイン・遊具等の製造販売を行っているメーカー。創立 1916 年。賑わいのある公共空間づくりのためのソリューションを提案。

・ 10 月 28 日（水）＜Sport for Tomorrow＞

2020 年に向けて日本が推進するスポーツを通じた国際貢献策「Sport for Tomorrow プログラム」により、“スポーツの価値とオリンピック・パラリンピック精神”を世界に発信します。

出演：鈴木 大地氏（スポーツ庁長官）、田辺 陽子氏（全日本柔道連盟理事 銀メダリスト）、Sir Martin Davidson KCMG（Chair, International Inspiration）ほか

・ 10 月 29 日（木）＜Visit Japan＞

2019 年のラグビーワールドカップの開催国となる日本。会場となる 12 の開催都市の観光の見所を紹介すると同時に、日本ならではの文化・自然・食・ホスピタリティなどの旅する奥深い楽しさを伝えることで、「つぎは日本へ！」といざないます。

出演：マーティン・バロウ氏（VISIT JAPAN 大使）、船曳 建夫氏（東京大学名誉教授）、Tim Webb 氏（Vice President, Franchising and Alliances, Time Out Group）ほか

なお、総合演出はプロデューサーの道田 淳氏が手掛け、シンボルマークは箔工芸作家である裕人 礫翔氏、書家・田中 紫花氏による作品です。

■特別企画「PRESENTING JAPAN YOUTUBE Challenge」

日本の一般の方々から「広めるべき日本の本質」をテーマにした動画を募集し^{※9}、その中から優れたものをロンドンの会場で上映し、世界に発信します。アンバサダーにYouTubeで人気のチャンネル「バイリンガール英会話」の吉田 ちか氏を起用することで、一般の方々の参加を促します。

※9 特別企画の募集詳細は、URL：www.presenting-japan.jp をご覧ください。

以 上